

鈴木泰介 贄田麗帆 が奨励賞を受賞しました。

2021年10月30日(土)

Choreographer's Concert vol.1 -宇-

鈴木泰介 贄田麗帆 作品「歓喜の歌」

Choreographer's Concert

2021年10月30日(土)・31日(日)

宇フォーラム美術館

マチネ開演 13:30 / ソワレ開演 14:30

vol.1 -宇-

一般社団法人現代舞踊協会制定 令和3年度

Choreographer's Concert 奨励賞 鈴木泰介・贄田麗帆

現代舞踊の奨励を目的として「Choreographer's Concert Vol.1 -宇-」の発表作品の中から優秀な作品を選出し奨励賞を授与いたします。



《受賞理由》作品「歓喜の歌」巧まずして巧みなテクニックで、限られた空間を感じさせない開かれた上昇志向によって解放感をもたらす演出に対して。

《略歴》

鈴木泰介 / 幼少より、柿沢舞踊研究所にて児童舞踊を始める。モダンダンスを旗野恵美に師事。日本大学芸術学部 演劇学科洋舞コース卒業。在学中より、自身のカンパニーを主宰、単独公演を継続的に行う。

贄田麗帆 / 3歳より、クラシックバレエを始める。佐藤和子、山本教子に師事。埼玉県立芸術総合高等学校 舞台芸術科卒業。Academie de Dance Classique Princesse Graceに留学。

鈴木・贄田ともに、コンテンポラリーダンスを能美健志・軽部裕美、バレエを柳瀬真澄に師事。

デュオ作品を数多く発表し、現代舞踊協会制定 新人振付賞、全国舞踊コンクール 創作舞踊部 第1位 文部科学大臣賞、埼玉全国舞踊コンクール 創作舞踊部門 第1位、東京なかの国際ダンスコンペティション 創作部門 第1位、こうべ全国洋舞コンクール 創作部門 優秀賞、NEXTREAM21 in Rikkoukai 最優秀賞、Dance Creation Award 創作部門 第1位、等多数受賞。

現在は、Atelier de Dance Classique Maho を主宰、東京練馬を中心に後進の育成にも励む。

《受賞のことば》

この度は、「Choreographer's Concert vol.1 -宇-」にて奨励賞という名誉ある賞を頂き、心より御礼申し上げます。今、この賞を授かることの意義を深く感じ思い考えています。ただ素直に感謝の気持ちでいっぱいです。「歓喜の歌」の一節に、「地球上にただ一人だけでも心をつかち合う友がいることを歓呼せよ」とあります。誰もが経験をした事がない大変な世の中、それでも共に生きている事に・踊れる事に歓喜し、創作活動に励んでいます。この受賞を更なる糧に、今後も舞踊・ダンスと真摯に向き合い、人として舞踊家として最大限に精進して参ります。

最後になりますが、ご指導くださる諸先生方、芸術文化の礎を築き上げた先人に敬意を表して、また、一緒に作品創りをしてくれる友、支えてくれる仲間感謝し、受賞の言葉と致します。

5. 鈴木泰介・贄田麗帆「歓喜の歌」

壁には美術館所蔵の作品4点(曼荼羅をテーマの現代アート)、音楽はベートーヴェンの第九。鈴木のリフトの巧さと贄田の美しさによるデュエットはいささかも揺るぎのない調和と安定感に満ち、音楽と一体化した流れを生み出す。天井があることすら感じさせない、上を志向する彼らのダンスは、今という時代において生命力を感じさせ、我々に心地よさや安らぎすらもたらすと言っても過言ではない。



令和3年度 奨励賞
鈴木泰介・贄田麗帆
「歓喜の歌」



鈴木泰介・贄田麗帆
「歓喜の歌」